

# 国語科学習指導案

指導者 日吉南小学校  
野元 泉

- 1 日時 平成27年11月18日(水) 第5校時
- 2 学年・組 第6学年1組 32名
- 3 単元名 『鳥獣戯画』を読む」「この絵、私はこう見る」
- 4 指導事項

○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて、要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。 「読むこと(1)ウ」

○事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりすること。 「書くこと(1)ウ」

・文章の中で、語句と語句との関係を理解すること (事項イーオ)

- 5 言語活動

○絵から読み取ったこと、感じたことを伝える文章を書く。

- 6 単元の構想

子どもの姿

教師の願い

本単元は、1枚の絵の中に描かれているものを丁寧に読み取ったり、そこから想像を膨らませたりして絵を味わうことが楽しい単元である。また、自分が読み取ったことや想像したことを友達と話し合い、感じ方が同じところや違うところ、自分が考えなかったことに気づく面白さも感じるができる。そのため、第1次に絵と文章とを対照しながら読み、筆者のものの見方を捉えたうえで、自分のものの見方を広げていく。そして、第二次では、絵を見て感じ取ったことを相手に伝えるように文章にする。

これらの楽しさを味わうために、作品を見るとき観点を知ることや自分が想像したことを相手に伝えるように書く力、友達と自分の意見を比べて相違点を見つけたり、それをもとに話し合ったりする力が必要である。本単元を通して、作品とじっくり向き合い、自分の想像を広げ、作品に対する自分の考えをまとめる力や自分の考えがきちんと伝わるように、言葉を選んで組み立てる力を身につけさせたい。これらを効果的に身につけさせるために、ICT機器を活用していきたい。

## 6 単元目標

- 絵と文章との関係を押さえて、筆者の考え方を捉え、自分の考えを明確にしながら読むことができる。
- 事実と感想、意見などを区別するとともに、必要に応じて絵の様子を簡単に書いたり、詳しく書いたりすることができる。

## 7 評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○絵巻物に対する筆者の見解に興味をもち文章を読もうとしている。 ○絵画に興味をもち、自分なりに絵から読み取ったことを伝えようとしている。	○絵の中にある情報を、適切に区別したり、関連付けたりしている。 ○絵から読み取ったことと感じたことを区別して書いている。 ○自分の見方や感じ方が伝わるように、表現を工夫して書いている。	○筆者がどのようなことを根拠として、考えを述べているかとらえている。 ○自分と他者とのものの見方や感じ方の共通点と相違点を明らかにし、自分の考えを深めている。	○文末表現や助詞の使い方など語句に着目して読み、語句と語句との関係を理解している。

## 8 テーマに迫るための手立て

わかる・楽しい授業のための教育メディアの効果的活用法を探ろう  
～学びを深め、広げる情報・視聴覚教育～

### [実物投影機の活用]

- ・児童の着目した部分を大型テレビ等に拡大して提示することで、より興味・関心を高めるようにする。
- ・実物投影機のズームを用いることで、子どもが見てほしいところ、注目してほしいところが明確になり、どこに目を向けるのか視点の向け方を確認しながら学習を進めることができるようにする。

### [アートカードの活用]

- ・図工で用いたアートカードを活用し、自分の好きな絵の解説文を書くことで、興味・関心を高められるようにする。

9 指導計画（全12時間「読むこと」「書くこと」 時間）本時 7 / 12時間目

次	時	学習活動	支援 (◎) と評価 (☆)
1	1	○「絵を読む」ことについて考える。 ・絵を見て気付いたことや感じたことを自由に話し合う。 ・学習計画を立てる。	◎教科書の絵やそのほかの絵巻物を提示し、絵を「読む」体験をさせる。 ◎「絵を読む」ことが、「自分なりの見方をもつ」ということを確認する。 ☆絵を読むことに興味をもち、自分なりに読み取ったことを伝えようとしている。(発言)
	2	○文章と絵を対応させながら筆者の見方を捉える。	◎作品の事実を述べた「解説部分」、筆者の意見、感想を述べた「評価部分」を色分けすることで、何を取り上げているのかはっきりさせる。
	3	・絵全体の中で、どの部分を取り上げているのか、取り上げた対象の何に着目しているのかサイドラインを引きながら読む。 ○絵や絵巻物に対する筆者の評価に対し、自分の考えや感想をまとめる。	◎サイドラインを引いたり、丸で絵をかこんだりして、絵と文を対応させることで、何をどのように評価しているか明確にする。 ◎筆者の主張を捉え、自分の考えと筆者の主張を比べられるようにする。 ☆筆者が取り上げたことや着目したことをどう評価しているか絵と文章を対照させながら読み取っている。(発言・ワークシート)
	4	○考えを効果的に伝えるための表現や構成の工夫を見つける。 ・教科書の観点をもとに、工夫やその効果を考える。 (書き出し、文末表現、比喻、問いかける言葉、構成の仕方など)	◎書き出し、文末表現などに着目させることで、その良さを見つけさせる。 ☆自分の解説文に生かすように、筆者の書き出しや文末表現、助詞の使い方などに着目して、文章を読んでいる。(発言・ワークシート)
	5	○筆者と自分のものの見方や感じ方を比べ、自分の考えをまとめる。	◎同じものを見ていても、人によって感じ方、考え方がそれぞれ違うことが理解できるようにする。
6	・筆者と自分の見方や感じ方で共通点や相違点を見つける。	☆自分と他者とのものの見方や感じ方の共通点と相違点を明らかにし、自分の考えを深めている。(ワークシート)	

7 本 時	<p>○絵から読み取ったこと、感じたことを書き出し、感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 P.148「猿のいる熱帯の森」の絵を見て、読み取ったこと、感じたことを付箋に書きだす。</li> <li>・自分の気付いたこと、感じたことを述べ合う。</li> <li>・簡単な解説文を書いてみる。</li> </ul>	<p>◎絵を大きく提示するようにし、発言に合わせて、着目した部分により関心が高まるようにする。</p> <p>◎付箋を用意し、読み取ったことや感じたことを区別して書きだせるようにする。</p> <p>◎実物投影機を用いて、着目するところを明確にし、どこに目を向けるのか視点の向け方を確認できるようにする。</p> <p>☆絵から読み取ったことや感じたことを区別して解説文を書いている。</p> <p>(ワークシート・発言)</p>
8 ・ 9	<p>○自分が選んだ絵から、読み取ったことや感じたことを書き出し、伝えたい内容を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事実と感想、意見を区別して読み取ったことを付箋に書きだす。</li> <li>・読み取ったことの中から、一番伝えたいことを決める。</li> <li>・付箋を分類して整理し、どの順序で書くか考える。</li> </ul>	<p>◎付箋に印をつけ、伝えたいこと、詳しく書きたいこと、簡単に書くことなどの分類できるようにする。</p> <p>◎付箋を並び替えながら、伝えたいことを効果的に書くための順番を考えられるようにする。</p> <p>☆絵から読み取ったことを、事実と意見を区別したり、軽重をつけたりして整理している。</p> <p>(ワークシート)</p>
2 10 ・ 11	<p>○表現の効果を工夫して、自分が選んだ絵の解説文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『鳥獣戯画』を読む』で学習した文などを参考に、表現のよさを確認する。</li> <li>・表現の工夫を取り入れて、文章に表す。</li> <li>・書きあがった文章を読み直す。</li> </ul>	<p>◎表現の工夫が取り入れられるように、『鳥獣戯画』を読む』で確認した表現の工夫を掲示物で残しておき、ふり返りできるようにしておく。</p> <p>◎同じ表現の繰り返しにならないように、表現例を参考に、様々な表現方法を考えられるようにする。</p> <p>☆事実と感想を区別しながら、自分の見方や感じ方が伝わるように表現を工夫しながら書いている。(ワークシート・解説文)</p>
12	<p>○互いに読み合っ、感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで読み合い、感想を伝えあう。</li> <li>・クラス全体で交流する。</li> <li>・再度、絵を見て友達の見方のよさを確認したり、新たに感じたことをまとめたりする。</li> </ul>	<p>◎感想の発表だけで終わらないように、話し合いのポイントを提示しておく。</p> <p>◎見方や感じ方でよい点、表現の仕方でのよい点に注目して感想を交流できるようにする。</p> <p>☆書いたものを読み合い、絵の見方のよさや表現に着目して助言し合うことで、もの見方や表現方法を広げている。(ワークシート)</p> <p>☆友達のと自分の考えを比べ、共通点や相違点に気付いている。(発言)</p>

1 0 本時目標

絵から読み取ったことや感じたことを区別して、簡単な解説文に表すことができる。

1 1 本時展開 (第7時 / 12時間)

時間	学習活動	支援 (○) と評価 (☆)	視聴覚機器
5	1 本時の学習課題を確認する		
	絵をよく見て、読み取ったことや感じたことを、解説文に表そう。		
	<p>これまでに学習してきた筆者のものの見方や表現の工夫を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵から読み取ったこと (事実)</li> <li>・絵から感じたこと (感想、意見)</li> </ul>	<p>○『鳥獣戯画』を読む』で学習したことをふり返り、人によって絵の捉え方が異なることの面白さを想起させ、意欲を高める。</p> <p>○大型テレビを用いて、『猿のいる熱帯の森』を大きく拡大できるようにし、全体で見ることができるようにする。</p>	<p><b>教室掲示物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習ふり返り</li> </ul> <p><b>実物投影機</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画像の拡大表示</li> </ul>
12	2 絵を見て読み取ったことや感じたことを付箋に書きだす。	<p>○絵が入ったワークシートを用意し、一人ずつじっくり絵を見られるようにし、様々な見方ができるようにする。</p> <p>○付箋を用意し、読み取ったことと感じたことを色で区別して書くようにする。</p>	
10	3 グループで絵の見方について交流する。	<p>○A3サイズの絵を用意し、それぞれが読み取ったことについて付箋をつけながら交流できるようにする。</p>	
10	4 全体で見方について交流する。	<p>○実物投影機を用いて、ワークシートを見せながらグループで話し合った見方について発表できるようにする。</p> <p>○絵のどんなところに着目したか確認し、読み取ったことや感じたことなどを交流させるようにする。</p>	<p><b>実物投影機</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画像の拡大表示</li> <li>・ワークシート表示</li> </ul>
8	5 観点を明確にして、簡単な解説文を書く。	<p>○友達やほかのグループの見方を聞いて、簡単な解説文に書き加えられるようにする。</p> <p>☆絵から読み取ったことや感じたことを区別して、解説文を書いている。 (ワークシート・発言)</p>	
	6 次時の確認を行う。		